

安全・安心の視点で考える地域のつながり



あなたの周りに助け合える人はいますか？

地震・台風・大雨などの災害や、高齢者・女性・子どもを狙った犯罪、交通事故など、暮らしの中には危険が潜んでいます。いざという時、お互いに助け合い、住み慣れた地域で安心して暮らすためには、日ごろから地域の人たちと顔が見える関係を築くことが大切です。

自治会行事や防災訓練への参加などをきっかけに、ご近所さんと知り合い、安全・安心に暮らしましょう。

災害から命を守るカギは「備え」です



防災マップ
マスコットキャラクター
「かも太」

地震・台風・大雨など、災害の種類や規模などによって、リスクは変わります。災害の種類に応じたハザードマップで、自宅やよく行く場所の災害リスクを確認しておきましょう。自宅が安全であれば「在宅避難」も可能です。

避難所の場所や安全な経路・避難方法を考えて、歩いて確認したり、家族と集合場所を決めておいたり、家の中の安全確認など、日ごろから備えましょう。

犯罪から身を守る防犯対策

「安まちアプリ」で防犯対策!

大阪府警察から身近な犯罪発生情報がタイムリーに届いたり、防犯マップや防犯ブザーなどいろいろな防犯機能がついているので、防犯対策におすすめです。



「大阪府警HP」

電話の向こうは「特殊詐欺」

電話で、役所や銀行・警察の職員等を騙り、現金やキャッシュカードをだまし取る詐欺が急増しています。「還付金がある」と騙しATMを操作させる「還付金詐欺」や「キャッシュカードの不正利用があった」とカードをすり替える「預貯金詐欺」、架空料金請求など口口はさまざまです。電話でお金のお話はすべて詐欺! すぐに切って、家族や警察に相談しましょう。



非常持ち出し品と備蓄品



非常持ち出し品は、持ち運びできるような必要最低限の生活必需品を、両手が使えるリュックサックなどに入れておきましょう。

備蓄品は、水道・電気・ガスなどのライフラインが止まった時の生活を想像し、最低3日分、できれば1週間分の必要なものを準備しましょう。

【例】調理用水+飲用水(1人1日3リットル)

- 非常用トイレ(1人1日6~7回分)、ごみ袋やトイレトイレットペーパー
- カセットコンロ、カセットボンベ(1人1週間6本程度)
- モバイルバッテリー、ポータブル電源、ソーラータイプの充電器



高齢者や子どものいる家庭など、生活必需品は各家庭によってさまざまです。必要なものを家族で話し合い、一緒に準備しましょう。

ローリングストック

普段食べている食品を多めに買い置き、食べた分を買い足し、常に食品を備蓄しましょう。



災害時の情報の収集

災害から命を守るには、積極的な情報収集が重要です。必要な情報がすぐに利用できるよう、普段からメールやSNSなどを登録・設定し、使い慣れておきましょう。体験利用できるものもあるので、いざという時のために体験しておきましょう。



● 災害用伝言ダイヤル **体験利用できます!**

(録音) 171 + 1 + 電話番号

(再生) 171 + 2 + 電話番号

※伝言を登録する電話番号をあらかじめ家族で決めておきましょう。



● 防災情報テレフォンサービス **体験利用できます!**

気象警報や避難所の開設、避難情報の発令などの防災情報を電話で確認することができます。

☎ 050-5536-6956



● 災害用伝言板 web171

伝言板サイトに伝言情報を登録できるサービスです。登録された伝言情報は、全国から閲覧、追加伝言登録ができます。



● 大阪防災アプリ

大阪府全域をカバーする防災アプリです。防災情報が収集できるほか、防災マップ、雨雲レーダーなどを備えています。



● 堺市危機管理室 X (旧ツイッター)

堺市の防災対策や災害発生時の被害情報や支援情報をお知らせしています。



● 堺市 LINE 公式アカウント

防災関連情報を簡単に確認できる「防災メニュー」があります。

